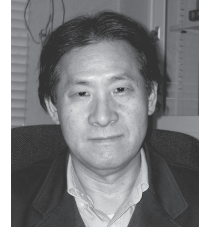


# PROFILE

## 姜 英 男

大阪大学大学院歯学研究科教授  
(高次脳口腔機能学講座)



平成14年9月16日より、森本俊文先生の後任として大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講座口腔生理学教室を担当しています。

私は、大阪大学歯学部卒業後、京都大学大学院に進学し、医学部第一生理学教室で、当時の細胞内記録法の第一人者でした荒木辰之助教授の御指導を受け、研究者としてスタートしました。その後20有余年を京大で過ごし、その間、大脳皮質の局所回路や皮質細胞の興奮性についての研究を行ってきました。そして、平成12年7月から北海道医療大歯学部口腔生理学講座(教授)を担当し、昨年、大阪に戻ってきました。京大在職中に、岡崎生理学研究所、京大霊長類研究所、東京都神経科学総合研究所、京都大学大学院情報学研究科、玉川大学工学部等とのたくさんの共同研究を行ってきましたが、私の力不足のため未だ十分に結実したものとはなっておらず、諸先生方に御迷惑をお掛けしているところです。私自身としては、その間、脳の広範な領域について研究を進めてきたおかげで、脳について幅広い視野を持つことができるようになったと思っています。また、なににもまして、そうした共同研究を通じて得ることができた一番の収穫は、数多くの優秀な研究者と出会えたことでした。

顎、口腔機能の神経機構についての解明は、他領域に比べて遅れているのが現状です。しかしな

がら、例えば、咀嚼運動の制御機構は、歩行運動等の脊髄神経運動系とは異なる極めて特徴的なものであることが明らかになりつつあり、歯科医学研究の必要性・重要性を示しています。私は、三叉神経系の生理学研究には、多くのpromisingな可能性が含まれていると考えています。私自身の学問的貢献は未熟な段階にありますが、新しい研究環境のもとで、顎、口腔機能の制御機構をさらに解明し、その特異性を明らかにすることで、広い意味での基礎医学に貢献していきたいと考えています。

### 略歴

- |         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 昭和52年9月 | 大阪大学歯学部卒業                      |
| 昭和57年3月 | 京都大学大学院医学研究科生理系専攻修了            |
| 昭和60年4月 | 京都大学医学部 助手<br>(生理学第一講座)        |
| 平成7年1月  | 京都大学医学部 講師<br>(生理学第一講座)        |
| 平成9年3月  | 京都大学大学院医学研究科<br>助教授(高次脳科学神経生物) |
| 平成12年7月 | 北海道医療大学歯学部<br>教授(口腔生理学)        |
| 平成14年9月 | 大阪大学大学院歯学研究科<br>教授(高次脳口腔機能学講座) |